

# ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第35期（決算日 2017年4月14日） 第37期（決算日 2017年6月14日） 第39期（決算日 2017年8月14日）  
第36期（決算日 2017年5月15日） 第38期（決算日 2017年7月14日） 第40期（決算日 2017年9月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。  
「ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）」は、2017年9月14日に第40期の決算を行ないましたので、第35期から第40期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年5月16日から2024年3月14日までです。
運用方針	主として、インド企業が発行する株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642347>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額	産 額
		税 分	込 配	み 金					
11期(2015年4月14日)	円 13,916		円 50			% 0.1	% 97.2	百万円 85	
12期(2015年5月14日)	12,401		50	△10.5	0.1	97.0	81		
13期(2015年6月15日)	12,475		50	1.0	0.1	95.7	85		
14期(2015年7月14日)	13,126		100	6.0	0.1	96.7	86		
15期(2015年8月14日)	13,099		100	0.6	0.1	96.5	80		
16期(2015年9月14日)	11,566		100	△10.9	0.1	93.6	69		
17期(2015年10月14日)	11,903		100	3.8	0.1	97.0	71		
18期(2015年11月16日)	11,292		100	△4.3	0.1	97.0	68		
19期(2015年12月14日)	10,807		100	△3.4	0.1	96.6	66		
20期(2016年1月14日)	10,404		100	△2.8	0.1	96.6	66		
21期(2016年2月15日)	8,928		100	△13.2	0.1	96.5	55		
22期(2016年3月14日)	9,631		100	9.0	0.1	97.0	60		
23期(2016年4月14日)	9,479		100	△0.5	—	96.8	71		
24期(2016年5月16日)	9,421		100	0.4	—	97.2	75		
25期(2016年6月14日)	9,183		100	△1.5	—	97.0	83		
26期(2016年7月14日)	9,348		100	2.9	—	97.1	93		
27期(2016年8月15日)	9,281		100	0.4	—	97.0	103		
28期(2016年9月14日)	9,200		100	0.2	—	96.7	117		
29期(2016年10月14日)	9,288		100	2.0	—	97.5	115		
30期(2016年11月14日)	8,799		100	△4.2	—	97.0	121		
31期(2016年12月14日)	9,165		100	5.3	—	97.1	138		
32期(2017年1月16日)	9,092		100	0.3	—	97.3	162		
33期(2017年2月14日)	9,486		100	5.4	—	98.5	175		
34期(2017年3月14日)	9,542		100	1.6	—	96.9	201		
35期(2017年4月14日)	9,523		100	0.8	—	96.9	248		
36期(2017年5月15日)	10,198		100	8.1	—	93.5	405		
37期(2017年6月14日)	9,874		100	△2.2	—	96.9	439		
38期(2017年7月14日)	10,230		100	4.6	—	98.3	544		
39期(2017年8月14日)	9,746		100	△3.8	—	98.0	563		
40期(2017年9月14日)	10,242		100	6.1	—	100.3	668		

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
第35期	(期 首) 2017年 3 月14日	円 9,542		% —		% —		% 96.9
	3 月末	9,697		1.6		—		97.1
	(期 末) 2017年 4 月14日	9,623		0.8		—		96.9
第36期	(期 首) 2017年 4 月14日	9,523		—		—		96.9
	4 月末	10,018		5.2		—		97.5
	(期 末) 2017年 5 月15日	10,298		8.1		—		93.5
第37期	(期 首) 2017年 5 月15日	10,198		—		—		93.5
	5 月末	9,920		△2.7		—		98.5
	(期 末) 2017年 6 月14日	9,974		△2.2		—		96.9
第38期	(期 首) 2017年 6 月14日	9,874		—		—		96.9
	6 月末	9,884		0.1		—		97.5
	(期 末) 2017年 7 月14日	10,330		4.6		—		98.3
第39期	(期 首) 2017年 7 月14日	10,230		—		—		98.3
	7 月末	10,322		0.9		—		96.7
	(期 末) 2017年 8 月14日	9,846		△3.8		—		98.0
第40期	(期 首) 2017年 8 月14日	9,746		—		—		98.0
	8 月末	10,140		4.0		—		98.3
	(期 末) 2017年 9 月14日	10,342		6.1		—		100.3

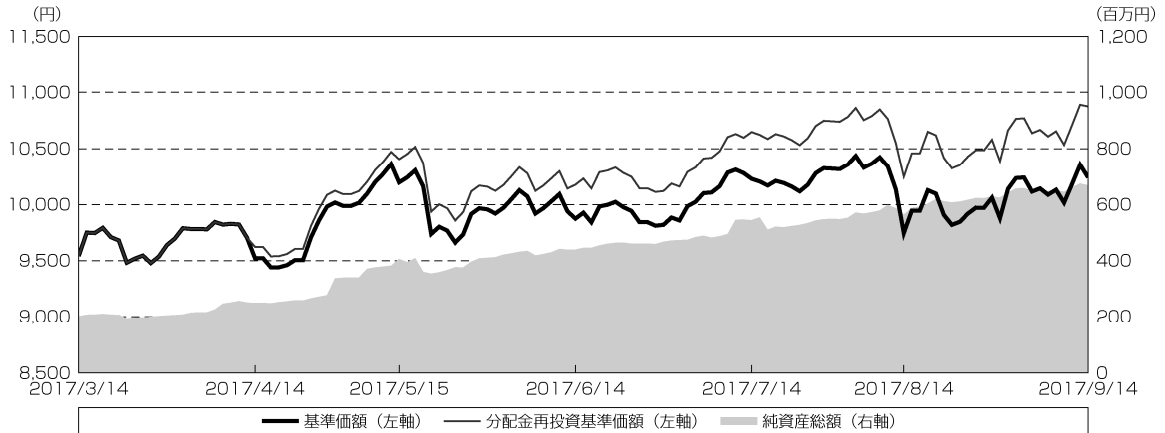
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2017年3月15日～2017年9月14日）

## 作成期間中の基準価額等の推移



第35期首： 9,542円  
 第40期末： 10,242円（既払分配金（税込み）：600円）  
 騰落率： 14.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年3月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、インドの企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## ＜値上がり要因＞

- ・与党のインド人民党（BJP）が州議会選挙で圧倒的な勝利を収めたこと。
- ・物品・サービス税（GST）関連法案が議会を通過して2017年7月の導入が決定したこと。
- ・モンスーンの降雨量が順調であること。

<値下がり要因>

- ・インド準備銀行（RBI）による利下げ決定後、さらなる追加利下げの可能性が後退したこと。
- ・インドルピーが対円で下落したこと。

## 投資環境

### （株式市況）

期間中のインド株式市場は、上昇基調となりました。世界的なリスク選好度の高まり、インド国内の貸出金利の引き下げを含む政策支援、BJPの州議会選挙での圧倒的な勝利、GSTの導入に向けた進捗などにけん引されました。ブラックマネーの厳格な取り締まりや、2016年に実施された高額紙幣廃止を受けて、国内株式ファンドへの着実な資金流入が見られ、これが株式市場を押し上げる形となりました。また、信頼性の高い規律のとれた財政政策に基づいた政府予算の発表や、改革の勢いの加速が海外からインド市場への資金流入を促しました。RBIは多額の負債を抱えた企業に対してより厳格な基準を課し、銀行融資返済のための資産の売却や業務再編に着手することを促しました。これは長年放置されていた懸案事項であり、今後は金融システムの健全性が一段と高まる見通しです。

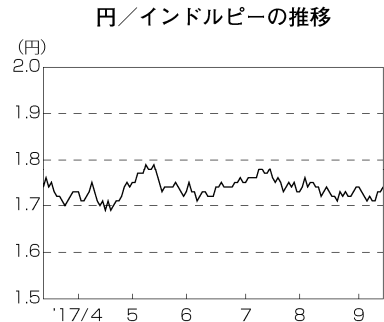
### （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.35%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

### （為替市況）

期間中における円／インドルピー相場は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドでは、収益性を追求するため、「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

当ファンドは、ヘルスケアセクターの組入比率を引き下げ一方で、金融セクターや一般消費財・サービスセクターの組入比率を引き上げました。加えて、電気通信セクターを新規に組み入れました。ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を重視したボトムアップの銘柄選択によって、業績の伸びが相対的に高く、勢いがあり、バリュエーション（株価評価）が妥当な水準にある銘柄に投資を行ないました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2017年3月15日～ 2017年4月14日	2017年4月15日～ 2017年5月15日	2017年5月16日～ 2017年6月14日	2017年6月15日～ 2017年7月14日	2017年7月15日～ 2017年8月14日	2017年8月15日～ 2017年9月14日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
（対基準価額比率）	1.039%	0.971%	1.003%	0.968%	1.016%	0.967%
当期の収益	17	100	47	100	23	100
当期の収益以外	82	—	52	—	76	—
翌期繰越分配対象額	1,837	2,344	2,301	2,458	2,382	2,479

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

（当ファンド）

引き続き、原則として「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

引き続き、インドの経済成長を享受することをめざし、分散投資による運用を行なう方針です。ファンダメンタルズが強く、収益の成長性に優れた企業を、ボトムアップアプローチにより個別に選別することに注力していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月15日～2017年9月14日)

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	54	0.544	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 9 )	( 0.093 )	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 44 )	( 0.436 )	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	( 0.016 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.003 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 5 )	( 0.047 )	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	59	0.594	
作成期間の平均基準価額は、9,996円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2017年3月15日～2017年9月14日)

## 投資信託証券

銘 柄		第35期～第40期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	千口	千円	千口	千円
		335,959	583,921	88,327	155,229

(注) 金額は受け渡し代金。



親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第35期～第40期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 605	千円 607	千口 152	千円 152

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月15日～2017年9月14日)

利害関係人との取引状況

<ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）>

区 分	第35期～第40期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 583	百万円 583	% 100.0	百万円 155	百万円 155	% 100.0
金銭信託	11	11	100.0	11	11	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区 分	第35期～第40期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 357	百万円 357	% 100.0	百万円 357	百万円 357	% 100.0

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年3月15日～2017年9月14日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年3月15日～2017年9月14日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2017年9月14日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第34期末	第40期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	120,703	368,335	670,444	100.3
合計	120,703	368,335	670,444	100.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘柄	第34期末	第40期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	198	651	653

(注) 親投資信託の2017年9月14日現在の受益権総口数は、612,753千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2017年9月14日現在)

項目	第40期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	670,444	95.0
マネー・アカウント・マザーファンド	653	0.1
コール・ローン等、その他	34,665	4.9
投資信託財産総額	705,762	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
	2017年4月14日現在	2017年5月15日現在	2017年6月14日現在	2017年7月14日現在	2017年8月14日現在	2017年9月14日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>260,509,598</b>	<b>446,105,515</b>	<b>457,234,284</b>	<b>567,382,269</b>	<b>581,868,311</b>	<b>705,762,931</b>
コール・ローン等	16,710,538	50,333,197	29,332,701	30,330,328	26,612,283	32,533,734
投資証券(評価額)	241,051,952	379,312,810	425,971,966	534,745,751	552,731,360	670,444,375
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	254,210	402,546	442,020	542,355	591,478	653,673
未収入金	2,492,898	16,056,962	—	—	—	—
未収配当金	—	—	1,487,597	1,763,835	1,933,190	2,131,149
<b>(B) 負債</b>	<b>11,688,482</b>	<b>40,241,268</b>	<b>17,748,558</b>	<b>23,156,553</b>	<b>17,972,168</b>	<b>37,080,911</b>
未払金	2,793,340	29,133,724	5,079,742	10,624,325	9,586,748	25,325,734
未払収益分配金	2,612,751	3,979,960	4,451,130	5,320,039	5,785,688	6,528,825
未払解約金	6,068,700	6,800,108	7,784,278	6,681,338	1,936,526	4,439,689
未払信託報酬	195,582	284,006	358,182	418,641	506,201	578,544
未払利息	18	51	47	37	23	62
その他未払費用	18,091	43,419	75,179	112,173	156,982	208,057
<b>(C) 純資産総額(A－B)</b>	<b>248,821,116</b>	<b>405,864,247</b>	<b>439,485,726</b>	<b>544,225,716</b>	<b>563,896,143</b>	<b>668,682,020</b>
元本	261,275,163	397,996,057	445,113,007	532,003,924	578,568,830	652,882,508
次期繰越損益金	△ 12,454,047	7,868,190	△ 5,627,281	12,221,792	△ 14,672,687	15,799,512
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>261,275,163口</b>	<b>397,996,057口</b>	<b>445,113,007口</b>	<b>532,003,924口</b>	<b>578,568,830口</b>	<b>652,882,508口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	9,523円	10,198円	9,874円	10,230円	9,746円	10,242円

(注) 当ファンドの第35期首元本額は211,250,488円、第35～40期中追加設定元本額は734,720,741円、第35～40期中一部解約元本額は293,088,721円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第35期0.9523円、第36期1.0198円、第37期0.9874円、第38期1.0230円、第39期0.9746円、第40期1.0242円です。

## ○損益の状況

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2017年3月15日～ 2017年4月14日	2017年4月15日～ 2017年5月15日	2017年5月16日～ 2017年6月14日	2017年6月15日～ 2017年7月14日	2017年7月15日～ 2017年8月14日	2017年8月15日～ 2017年9月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	646,076	844,625	2,516,853	1,762,815	1,931,957	2,129,752
受取配当金	646,453	845,878	2,518,169	1,763,835	1,933,190	2,131,149
受取利息	1	—	—	22	16	—
支払利息	△ 378	△ 1,253	△ 1,316	△ 1,042	△ 1,249	△ 1,397
(B) 有価証券売買損益	23,055	23,182,332	△ 8,500,691	20,207,218	△ 24,217,458	34,493,165
売買益	402,014	23,546,682	1,444,779	20,733,440	171,521	35,369,990
売買損	△ 378,959	△ 364,350	△ 9,945,470	△ 526,222	△ 24,388,979	△ 876,825
(C) 信託報酬等	△ 213,673	△ 310,316	△ 391,325	△ 457,381	△ 553,049	△ 632,088
(D) 当期損益金 (A + B + C)	455,458	23,716,641	△ 6,375,163	21,512,652	△ 22,838,550	35,990,829
(E) 前期繰越損益金	463,564	112	14,580,818	3,460,919	17,386,191	△ 10,737,175
(F) 追加信託差損益金	△ 10,760,318	△ 11,868,603	△ 9,381,806	△ 7,431,740	△ 3,434,640	△ 2,925,317
(配当等相当額)	( 49,713,991)	( 73,575,325)	( 90,205,506)	( 111,165,283)	( 124,882,379)	( 143,168,119)
(売買損益相当額)	(△60,474,309)	(△85,443,928)	(△99,587,312)	(△118,597,023)	(△128,317,019)	(△146,093,436)
(G) 計 (D + E + F)	△ 9,841,296	11,848,150	△ 1,176,151	17,541,831	△ 8,886,999	22,328,337
(H) 収益分配金	△ 2,612,751	△ 3,979,960	△ 4,451,130	△ 5,320,039	△ 5,785,688	△ 6,528,825
次期繰越損益金 (G + H)	△ 12,454,047	7,868,190	△ 5,627,281	12,221,792	△ 14,672,687	15,799,512
追加信託差損益金	△ 12,454,165	△ 11,868,603	△ 9,381,806	△ 7,431,740	△ 3,434,640	△ 2,925,317
(配当等相当額)	( 48,020,144)	( 73,575,325)	( 90,205,506)	( 111,165,283)	( 124,882,379)	( 143,168,119)
(売買損益相当額)	(△60,474,309)	(△85,443,928)	(△99,587,312)	(△118,597,023)	(△128,317,019)	(△146,093,436)
分配準備積立金	118	19,736,793	12,255,201	19,653,532	12,979,393	18,724,829
繰越損益金	—	—	△ 8,500,676	—	△ 24,217,440	—

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2017年3月15日～2017年9月14日) は以下の通りです。

項 目	2017年3月15日～ 2017年4月14日	2017年4月15日～ 2017年5月15日	2017年5月16日～ 2017年6月14日	2017年6月15日～ 2017年7月14日	2017年7月15日～ 2017年8月14日	2017年8月15日～ 2017年9月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	439,773円	833,692円	2,125,513円	1,726,119円	1,378,890円	2,092,940円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	15,482円	22,882,949円	0円	11,950,610円	0円	10,759,804円
c. 信託約款に定める収益調整金	49,713,991円	73,575,325円	90,205,506円	111,165,283円	124,882,379円	143,168,119円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	463,767円	112円	14,580,818円	11,296,842円	17,386,191円	12,400,910円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	50,633,013円	97,292,078円	106,911,837円	136,138,854円	143,647,460円	168,421,773円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	1,937円	2,444円	2,401円	2,558円	2,482円	2,579円
g. 分配金	2,612,751円	3,979,960円	4,451,130円	5,320,039円	5,785,688円	6,528,825円
h. 分配金(1万円当たり)	100円	100円	100円	100円	100円	100円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	100円	100円	100円

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2017年3月15日から2017年9月14日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A	
	モーリシャス籍円建外国投資法人	
運用の基本方針		
基本方針	主として、インド企業の株式に分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。	
主な投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インド企業の発行するインド・ルピー建株式</li> <li>・インド企業の発行する当該株式を裏付けとした預託証券（DR）</li> <li>・インド・ルピー建あるいは米ドル建の流動性の高い短期金融資産</li> </ul>	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、ムンバイの金融商品取引所に上場しているインド企業のインド・ルピー建株式を投資対象とし、分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。</li> <li>・純資産総額の 80%以上をインド・ルピー建株式および当該株式を裏付け資産とした預託証券（DR）に投資します。</li> <li>・リスクヘッジのため派生商品、主に先物取引に投資する可能性があります。主な投資対象ではありません。</li> <li>・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・ただし、市況動向や資金動向その他の要因によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1銘柄の組入れは、原則として組入れ時の純資産総額の 10%を限度として投資します。</li> <li>・投資信託証券への投資は、純資産総額の 5%を上限とします。</li> <li>・借入残高の合計金額が、純資産総額の 10%未満の範囲で借入れを行なう場合があります。</li> </ul>	
収益分配	原則として、毎月分配を行いません。なお、運用会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率 0.7%（国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年 3 月 31 日	

## Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd

## 包括利益計算書

2016年3月31日までの1年間

単位：日本円

## 収益（損失）

配当収入	52,737,687
損益を通じて公正価値評価される金融資産の公正価値のその他の純変動額 為替差損	(717,424,313)
	(15,025,280)
<b>純収益（損失）合計</b>	<b>(679,711,906)</b>

## 費用

投資運用報酬	25,737,406
取引費用	17,492,797
管理報酬	10,962,841
税金費用	4,190,589
保管費用	2,136,949
銀行手数料	1,646,902
監査報酬	2,592,068
取締役報酬	1,194,375
ライセンス料	520,539
インド証券取引委員会（SEBI）手数料	454,717
現金保管手数料	227,538
専門家報酬	177,078
<b>費用合計</b>	<b>67,333,799</b>
<b>税引前損失</b>	<b>(747,045,705)</b>
所得税	(1,573,194)
<b>運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の減少</b>	<b>(748,618,899)</b>

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd  
 財政状態計算書  
 2016年3月31日現在

単位：日本円

## 資産

## 流動資産

損益を通じて公正価値評価される金融資産	2,749,968,771
受取債権	33,381,860
現金および現金同等物	111,346,226

## 資産合計

2,894,696,857

## 資本

投資主資本 — 出資者持分	11,619
---------------	--------

## 資本合計

11,619

## 負債

## 流動負債

未払所得税	194,192
支払債務	30,838,587
負債（クラスA投資主に帰属する純資産を除く）	31,032,779

クラスA投資主に帰属する純資産

2,863,652,459

## 負債および資本合計

2,894,696,857

クラスA投資証券の発行済残高

1,911,059,901

クラスA投資証券1口当たり純資産価額

1.4985



Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd  
 投資主に帰属する純資産変動計算書  
 2016年3月31日までの1年間

	口数	単位：日本円
期首現在のクラスA投資主に帰属する純資産	2,338,644,505	4,567,983,210
クラスA投資証券の発行による受取代金	271,100,585	492,803,696
クラスA投資証券の買戻による支払代金	(787,336,246)	(1,448,515,548)
分配金自動再投資の受取代金	88,651,057	152,045,349
証券取引による純減少	(427,584,604)	(803,666,503)
分配金の支払い	—	(152,045,349)
運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の減少	—	(748,618,899)
期末現在のクラスA投資主に帰属する純資産	1,911,059,901	2,863,652,459

資本は出資者持分のみで構成されている。出資者持分は変更がないことから、取締役会の意見では資本変動に関する十分な情報は記載されており、したがって、2016年については資本変動計算書を作成していない。

## 損益を通じて公正価値評価される金融資産の一覧表

2016年3月31日現在

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する 割合 (%)
	エンジニアリング		
30,000	Larsen and Toubro	61,865,472	2.16
	銀行		
73,900	HDFC Bank	134,164,710	4.68
105,000	Housing Development Finance Corp	196,757,319	6.87
150,000	ICICI Bank	60,164,642	2.10
50,000	Indusind Bank Limited	81,999,165	2.86
		473,085,836	16.51
	電子機器		
187,000	InfosysTechnology	386,135,222	13.48
		386,135,222	13.48
	多角化企業		
81,970	Reliance Industries Ltd	145,210,461	5.07
	医薬品		
998	Dr. Lal Pathlabs	1,561,770	0.05
85,854	Healthcare Global Enterprises Limited	25,981,484	0.91
90,000	Sun Pharmaceuticals Inds Ltd	125,083,472	4.37
27,000	Divis Laboratories	45,178,777	1.58
30,000	Cipla Limited	26,031,091	0.91
		223,836,594	7.82
	インフラストラクチャー		
175,000	Tata Motors Ltd	114,668,324	4.00
7,700	Hero Motocorp Ltd	38,443,490	1.34
7,000	Bajaj Auto Ltd	28,544,879	1.00
2,000	Eicher Motort Limited	65,018,321	2.27
		246,675,014	8.61

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する 割合 (%)
	<i>メディア</i>		
350,000	Dish TV India Ltd	51,431,680	1.80
85,000	Zee Entertainment Enterprises Ltd	55,746,466	1.95
		<u>107,178,146</u>	<u>3.75</u>
	<i>その他</i>		
4,000	Maruti Suzuki India Ltd	25,194,998	0.88
37,000	Lupin Ltd	92,765,581	3.24
40,000	Bharat Petroleum Company	61,307,850	2.14
33,000	TATA Consult Services Ltd	140,964,497	4.92
20,500	Mahindra & Mahindra Ltd	42,066,267	1.47
12,000	Ultratech Cement Ltd	65,668,823	2.29
20,000	Yes Bank Ltd	29,323,430	1.02
28,000	Godrej Consumer Products Ltd	65,528,824	2.29
80,000	LIC Housing Finance Ltd	66,867,116	2.33
28,043	Bharat Forge Limited	41,498,464	1.45
79,200	Tech Mahindra Ltd	63,755,351	2.23
28,000	Apollo Hospitals Enterprise Ltd	63,084,782	2.20
64,000	Aurobindo Pharma	80,801,889	2.82
12,000	Britannia Industries Ltd	54,640,122	1.91
29,000	Cummins India Ltd	41,376,189	1.44
33,000	SKS MicroFinance Ltd	30,530,282	1.07
64,000	UPL Ltd	51,817,778	1.81
36,850	Emami Limited	58,228,653	2.03
25,000	Cholamandalam Investment	30,561,130	1.07
		<u>1,105,982,026</u>	<u>38.61</u>
	損益を通じて公正価値評価される金融資産合計	<u>2,749,968,771</u>	<u>96.01</u>

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第7期（決算日 2016年10月12日）  
（2015年10月14日～2016年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

## ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
3期(2012年10月12日)	円		%		%	百万円
	10,027		0.1		78.6	699
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1		88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1		60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0		62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0		—	483

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2015年10月13日	円		%		%
	10,043		—		62.9
10月末	10,044		0.0		67.6
11月末	10,044		0.0		63.3
12月末	10,044		0.0		65.3
2016年1月末	10,044		0.0		65.7
2月末	10,044		0.0		72.8
3月末	10,044		0.0		67.6
4月末	10,044		0.0		—
5月末	10,043		0.0		—
6月末	10,043		0.0		—
7月末	10,043		0.0		—
8月末	10,043		0.0		—
9月末	10,042		△0.0		—
(期 末) 2016年10月12日	10,042		△0.0		—

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2015年10月14日～2016年10月12日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,043円の基準価額は、期間末に10,042円となり、騰落率は△0.0%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・利息収入などを得たこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

## (国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

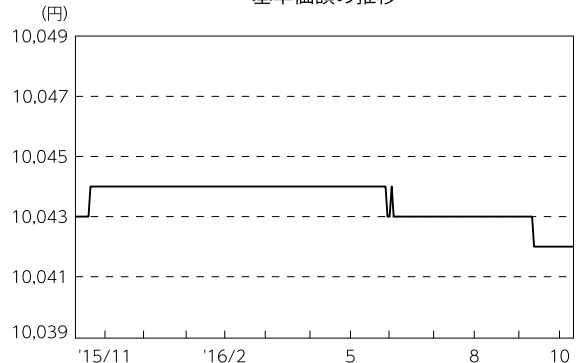
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2015/10/13	2015/10/22	2016/09/12	2016/10/12
10,043円	10,044円	10,042円	10,042円

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,043円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	3,051,625	2,311,628 (1,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2015年10月14日～2016年10月12日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2016年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	484,532	100.0
投資信託財産総額	484,532	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			484,532,285
(B) 負債				
	未払解約金			484,532,285
	未払利息			1,508,661
(C) 純資産総額(A-B)				1,508,236
	元本			425
	次期繰越損益金			480,993,642
(D) 受益権総口数				2,029,982
	1万円当たり基準価額(C/D)			480,993,642口
				10,042円

(注) 当ファンドの期首元本額は617,609,609円、期中追加設定元本額は297,706,739円、期中一部解約元本額は434,322,706円です。

(注) 2016年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・資源株ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)	61,656,805円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	766,040円
・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	60,490,846円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	748,136円
・エマージング・プラス (マネーボールファンド)	41,242,762円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	723,698円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	39,127,773円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ブラジルリアルコース	709,751円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	37,663,662円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり (適格機関投資家向け)	593,798円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	36,556,016円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	525,717円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (マネーボールファンド)	36,148,905円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	443,169円
・世界標準債券ファンド	26,395,547円	・世界のサイフ2 (毎月分配型)	401,193円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	26,144,472円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	352,186円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	17,125,049円	・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) インドネシア・コース	338,114円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	15,873,379円	・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) インドネシアルピア・コース	239,584円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	11,068,946円	・ノーロード・インド株式フォークス (毎月分配型)	113,740円
・グリーン世銀債ファンド	6,903,139円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) 資源国通貨コース	105,748円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)	6,735,212円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジあり	102,030円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアル・コース> (毎月分配型)	5,941,746円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) オーストラリアルコース	83,734円
・エマージング・プラス・円戦略コース	4,291,213円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	70,452円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	3,565,140円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)	69,984円
・インデックスファンドMLP (1年決算型)	3,231,725円	・オーストラリア・インカム株式ファンド (毎月分配型)	67,920円
・高金利成長通貨ファンド (毎月分配型)	2,827,219円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ヘッジなしコース	60,028円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	2,818,206円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (通貨プレミアムコース)	45,596円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	2,514,471円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	40,174円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	2,455,213円	・アジア債券ファンド (毎月分配型)	38,161円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	1,967,243円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジなし	34,825円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,490,881円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバルC o C o 債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,471,114円	・上場インデックスファンドNifty50先物 (インド株式)	19,983円
・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	1,455,837円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (円ヘッジコース)	1,425,937円	・上場インデックスファンド中国H株 (ハンセン中国企業株)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,370,174円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,360,527円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジなし	16,862円
・グローバルC o C o アカウント 先進国高金利通貨コース	1,072,272円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	13,682円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,069,770円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォークス (毎月分配型)	12,516円
・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) ブラジルリアル・コース	1,062,142円	・上場インデックスファンド新興国債券 (パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	998,560円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円
・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	921,896円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興GSグローバル・マーケッツ・ファンド	840,733円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,287円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	779,930円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0042円です。

## ○損益の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△ 53,652
	受取利息		48,057
	支払利息		△ 101,709
(B)	有価証券売買損益		244
	売買益		244
(C)	保管費用等		△ 2,013
(D)	当期損益金 (A + B + C)		△ 55,421
(E)	前期繰越損益金		2,682,400
(F)	追加信託差損益金		1,297,094
(G)	解約差損益金		△ 1,894,091
(H)	計 (D + E + F + G)		2,029,982
	次期繰越損益金 (H)		2,029,982

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2015年10月14日から2016年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。